

一 人口の動き

11月末日現在
 () は10月末との比較

人口 5,908人 (-17人)
 男 2,896人 (-5人)
 女 3,012人 (-12人)
 世帯 1,267世帯 (-2)
 出生 11人 死亡 4人
 転入 7人 転出 31人

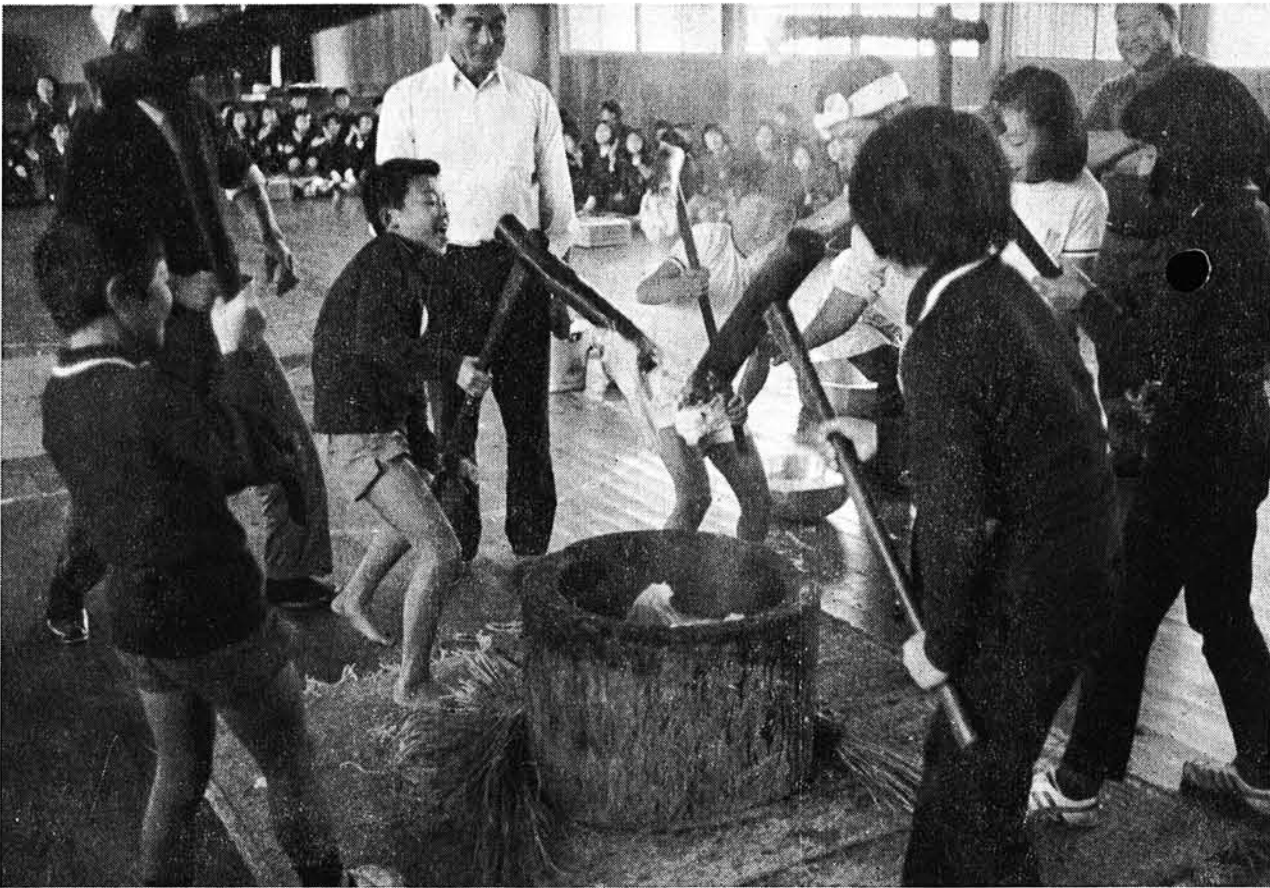
広報

わしま

発行 和島村役場企画課

発行日 昭和50年1月10日

印刷所 西山町 三共印刷



さあ一九七五年だ

昭和五十年、西暦でいえば一九七五年がやってきた。国際緊張の絶え間がなく、国内も波乱含みとはいえず、戦争のない平和な現代に生きることを、お互いに喜び合いたいものです。日常生活は、機械化、合理化され、昔の風習も忘れ去られようとしています。

十二月三日、桐島小学校では、桐島農業協同組合の好意で、一足はやいおもちつきが行なわれました。

高額療養費を支給します

一月から国民健康保険の医療費負担金が三万円で済むことになりました。

いままでの場合、国保加入者は医師の治療を受けますと医療費の三分が三万円をこえた場合でも自己負担金として支払いしなければなりません。

一月からは、こうした自己負担金を三万円以上支払った場合、役場(国保)から還付金(高額療養費)の支払いを受けることができるようになります。つぎの場合に支払われました。

税の申告は一月の中に

一月は、固定資産税などの申告月です。提出期限は一月三十一日までです。遅れないよう提出して下さい。

償却資産申告書は、一月一日において、個人、法人を問わず事業用資産を所有しているものが提出することになります。耐用年数に応じ減価計算したものの合計価格が一〇〇万円未満の場合は免脱点以下となります。

新築住宅の減価申告書は、昭和三十八年一月二日から五十年一月一日までの間に新築されたもので、住宅部分一戸当りの床面積が一〇〇平方メートル以下、価格一平方メートル当り三万六千円以下等が要件となります。

住宅用地の適用(異動)申告書は、前年において住宅用地を取得したもの又は以前から引き続き所有していた住宅用地を住宅用地以外の土地への変更をしたものが申告することになります。



新名所誕生

十二月十三日、島崎橋脇に良寛せんげの地にふさわしい歌碑の除幕式が行なわれ、新名所ができました。

おそくなります。老人医療費などの公費負担医療は対象外となります。

新潟県が実施している公費負担医療(妊産婦、乳児、重症、県老)受診者で高額医療該当者は、毎月七日まで認印持参で手続きして下さい。

少年に楽しい正月を

お正月の楽しいプランに胸をはずませている少年が、万引きなどの非行や事故で夢をつぶすことがあつてはなりません。

最近の非行少年は、遊びに結びついた非行が多く、また児童、生徒がその大半です。年の始めには温い目で見守り、適当なきびしきで指導して、非行や事故から守つてやる配慮が大切です。

お正月の楽しいプランに胸をはずませている少年が、万引きなどの非行や事故で夢をつぶすことがあつてはなりません。

最近の非行少年は、遊びに結びついた非行が多く、また児童、生徒がその大半です。年の始めには温い目で見守り、適当なきびしきで指導して、非行や事故から守つてやる配慮が大切です。

わが家の家計簿

新潟県貯蓄推進委員会では「わが家の家計簿」体験談を募集しています。

内容
 家計簿をつけ始めた動機や記帳上の苦心談
 家計簿をつける喜びや家族の方々の協力の模様
 家計簿で発見したムリやムダなど、家計簿記帳に関するもの

阿弥陀瀬部落が表彰を受ける

十二月九日に役場議場で、新潟県交通災害共済組合長表彰の伝達があり、阿弥陀瀬区長が部落民を代表して受彰しました。

年間一人三五〇円の交通災害共済組合の加入成績優良として伝達されたもの、78パーセントの部落民が加入しています。

スポーツ教室日程

一月のスポーツ教室は次の日程で開きます。

男子バレー(17日から)
 婦人バレー(18日から)
 バトミントン(20日から)
 バスケケット(21日から)
 卓球(22日から)
 柔剣道(23日から)

水道管に防寒対策を

本格的な寒さの季節となり水道管が凍結し、破損漏水などの事故が多くなります。使用料へのはね返りを少なくするようつとめましょう。

※水道管には保温工を
 ※止水栓及びメーター器の位置は除雪や標識の設置を
 ※屋外の水栓柱、消火栓には赤い布による位置表示を

日	曜	種目	対	象	時	間	場	所
二	水	三種混合	昭和四十八年九月一日(四十九年七月)	分	二	時	福	社
三	水	ワクチン	昭和四十九年九月一日(五十年七月)	分	二	時	福	社

止まります、待ちます、車のきれるまで

基幹道路の整備と 社会的公正を

和島村長 早川平三郎

明けましておめでとうございます。昨年をふりかえつて見ますと、石油に端を発したインフレと不況の両在というかつてない現象を呈しました。この混乱の中で政府のつた財政面からの総需要抑制策によって、財政基盤の弱い中小企業の倒産を誘発し、物価高騰と賃金上昇の悪循環に陥らうとされました。こうした政情の不安定から田中内閣は退陣し、これからの日本海時代を迎える秋に当たって誠に遺憾でありました。このような激動する中で村政を執行してききましたが、皆さんの協力によって当初計画どおり実施することができました。ただ年度途中で物資高騰と人件費の上昇に伴って財政規模が大きくなり、一般会計では、十二月補正後の現計予算額が四億四千五百万円を突破し、三月決算時には恐らく四億七千万円前後になるものと推計され、当初予算額に比べて約一億円前後の名目増になるものと予想されます。



新しい年を迎え、今後の財政運営を思う時、思いを更に深く誓うものであります。新内閣の方針も「総需要抑制の枠内での現実政策」を打ち出しており、前途は多難と思わざるをえません。このように極めて困難な財政運営が予想されますが、常に望みを捨てず、躍進の意欲を燃やしつつ生きていきます。困難な中にも調和のとれた財政計画を樹立することであり、その基調となるものは、人間尊重であり、社会的経済的に弱い立場の人々の生活安定と社会的公正を期すこととあります。村民の直接の声をききながら、明るい希望に満ちた生活環境と豊かな収入源を得るよう努力する行政の実現です。その具体策として、本年も基幹道路の整備を優先し、村から隔差をなくすることです。基幹産業である農業の振興は食糧危機時代到来を目前に控

社会開発と産業を振興

和島村議会議員 早川八十八

謹んで新春のお喜びを申し上げます。目まぐるしく激動する世界経済と変りゆく社会構造の中で国土利用の均衡をはかるため、政治の流れが日本海地域へ移行しつつあります。和島村も将来の展望の上に立つて、総合開発計画にもとづき、民生の安定向上をはか

え、緊急の事業であります。さいわい本村は、殆どどの農地が基盤整備を完了しており、今後はその経営改善に真剣にとりくまなければなりません。構造改善が進展するに伴って省力化された労働力を農外収入に転用することが必要です。その為農村地域の環境を保全し、公害のない農村工業導入を推進して来ましたが本年四月には製菓工業が、十二月にはコンクリート工業がそれぞれ稼働し生産活動に入ることになりました。これらの就業者は先ず村内から充足し、しかる後村外か

ら移入をはかるよう関係企業に申し入れてあります。このよう村内人口が定着し、更に若者のUターンと村外からの移入を積極的にはかるには、生活関連施設であるリクリエーションなどの施設実現も急を要することになり、第一着手として総合グラウンドの建設を始めたいと願っています。総需要抑制政策は日本海時代ブームの鎮静化と判断し、これに対応した堅実な構想を打ちたてる好機でもあり、禍を転じて福となす柔軟な姿勢に立返るべきではないかと考えます。

限られた財源の中で社会的公正を期す行政を理念と心得て不要不急を排し簡潔にして実質的な施策を推進するには皆さんの暖かいはげましと協力がなければなりません。どうぞ相変らずの指導をお願いして年頭の辞とします。

年金保険料

一、一〇〇円

課せられた使命と考いています。村民の理解と指導、協力をお願いして年頭のあいさつといたします。

あせっている、今があなたの、赤信号

二月一日 農業センサスを実施

五年ごとの実施されている農業センサスが、二月一日を期して全国一せいにこなわれることになりました。この調査は、農業の基本的な調査として農業振興あるいは地域発展計画などの基礎資料として広く活用されてきました。

今回の農業センサスは、農業の現状を克明には握り、昭和五十年代農政の指針を明らかにする使命をもつものでその成果があらゆる方面から期待されています。

50年代農業への展望

ここ数年間の農業は、経済の急激な発展に、未だかつてないほど激しくゆれ動いております。米の生産調整に伴う農業生産の変化、農業労働力の流失や兼業化の進展、農用地のいかげつと地価の高騰など「曲り角にきた農業」を具体的な数字としてとらえようとするのが今回のセンサスです。

この調査には、二人の指導員と三十二人の調査員が調査にあたります。主な調査事項は、世帯員の就業状況、土地及び土地利用



◎調査員と担当部落

早川真一(新田)、長谷川義栄(小谷)、近藤正良(下町上)、近藤九之亮(下町下)、本間隆夫(川端)、早川盛時(道城下)、三河保(中央)、早川徳郎(法善町)、池内作次郎(寺町)、中村敏雄(上桐の一部)、柄沢幸男(上桐の一部)、加勢光政(三瀬ヶ谷)、羽入松雄(北野)、竹内悟一(根小屋)、佐越光英(荒巻)、新保勇雄(下富岡)、狩野真一(若野浦)、八子四郎衛(阿弥陀瀬)、平沢昭司(日野浦)、大矢登



以下は大会の成績です。優勝島崎Aチーム。準優勝

島崎Aチームへ

十二月一日福祉センターで婦人バレーボール大会が開かれました。大勢の観客のみつめるなかで、ワン、ツー、スリーの掛け声とラリーの応酬が続き応援席から盛んな拍手と声援をうけ、終始大熱戦がつつきました。

志男(旧曲田及び円蔵寺)、大矢勝三(旧北中)、田村浜一(梅田)、大倉利男(旧小布施及び打北)、佐藤平八郎(吉籠及び辺張)、大倉日出雄(村田)、宮田敏雄(城之丘)、小林清(両高)、谷川憲義(坂谷)、松永利治(下小島谷)、久住清一(中小島谷)、久住実(上小島谷)、大矢幸二(高畑)

飲酒運転の追放を

県と市町村、交通安全協会などの団体では昨年の十一月十一日から二月十八日まで、「飲酒運転追放一〇〇日運動」を実施しています。

「悪い習慣をなくそう」うれしいにつけ、悲しいにつけ、酒をくみかわすということとは私たちの生活に深く関係してあります。客を気持ちよく迎え、そしてまた客としてお返しを深めることにならなければならないもの、車が広く使われるようになった現代では、好意の表わし方も相手の立場に立つて考えてやらなければなりません。

車を運転してきている人に、久しぶりに来たのだから、祝い酒だから、つきあいではないか、少しくらいなら、などと酒を進めることは、も

路上駐車禁止に

鳥崎や小島谷地内など村内で駐車禁止されている道路所が、路上駐車禁止場所所になります。警察のとり締まり対象となるばかりでなく、除雪作業のさまたげとなり

てなしにならないだけでなくかえって相手に迷惑をかけることになるのです。「酒と車の運転を結びつけてはならないのだ」という意識をみんなが持ち、正しい習慣づけが行なわれるように努力しましょう。

「飲酒運転をしようとする人には、勇気をもつて注意しよう」飲酒運転は、一度行われると、少しくらいの酒なら大丈夫と、取締りにあわないうところを、取締りにあわないうところを通ればよい

路上駐車禁止場所には、絶対に車両を駐車しないでください。もし、除雪作業のため路上駐車禁止場所所を駐車してある車両を損傷した場合の修理に要した費用、又はその車を排除させるために要した費用等は、みなさんの負担になりますので注意してください。

役場人事

退職(十二月四日付)
大矢 繁(企画課)
採用(一月一日付)
企画課
主事補 早川勝弘

きをつけよう、まいにちとおる、みちだけど